

With コロナの公民館活用法を考える 地域活動オンライン化推進モデル地区支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民の交流やイベントの規模縮小、自粛を強いられている現状があります。

広川町では、新たな生活様式に対応し、持続可能な地域活動の形を模索していくため、「地域活動オンライン化推進モデル地区支援事業」に取り組んでいます。今回、Wi-Fi環境を整備している川瀬区公民館をモデル地区とし、地域の人材と連携してオンライン化に対応した交流活動や生涯学習活動プログラムを行いました。



1/5 (木) ~ 1/8 (日) あしてらキャンプ



(株)あしたの寺子屋・(一社)irodoriの協力のもと、全国から集まった社会人や大学生のスタッフと一緒に、勉強したり、将来について考えたり、日々の悩みについて向き合うことのできる学びの場作りを行いました。小学5年生～高校生を対象に、4日間で44人が参加。冬休みの宿題をしたり、オンラインツールを利用して将来の夢について深掘りしたり、大学生から進路や試験勉強についてアドバイスをもらったりと、楽しみながら自由な時間を過ごしました。

1/6 (金) 小学生英語体験教室

普段から川瀬区公民館を借りて、英会話教室を開講しているフォーラム・イングリッシュスクールの協力のもと、小学生向けの英語体験教室を行いました。

当日は17人の児童が参加。3人の外国人講師と一緒に、レクリエーションを交えながら、英語の発音や海外の文化について楽しく勉強しました。



1/7 (土) スマホ体験教室

エックスモバイル筑後店協力のもと、スマホ体験教室を行いました。スマートフォンを持っていない人や、初心者想定した体験教室でしたが、参加者14人のうち、ほとんどの人がスマートフォンを持っており、ラインスタンプのダウンロード方法や、写真・動画の送信方法など、より実践的な内容となりました。



1/5 (木) オンライン講話会



インターネットを活用することで、離れたところにいる専門家の話を聞くことができます。

今回は、公民館と姫野病院をつなぎ、姫野病院の姫野亜紀裕理事長から、病院で実施中のオンライン診療やマイナンバーカードの有益性について、医師の見解を聞きました。

モデル事業を終えて【担当職員の声】

川瀬区の協力のもと、4日間に渡りたくさんのプログラムを行いました。実証実験的な内容でしたが、スマートフォンやタブレットなどの端末を利用することで、これまで集まらないとできなかった活動を「オンライン」で解消するという体験ができ、交流の幅が広がる可能性を示すものになったと感じます。

地域活動の拠点である公民館の活用法についても、民間企業との連携により、さらなる可能性を見出すことができました。今後も、地域活動の充実のため、皆さんと一緒に模索していきます。

学校図書館コンクールで受賞 上広川小学校

1月24日(火)、福岡県学校図書館協議会と西日本新聞社主催の「学校図書館コンクール」で、上広川小学校が九州地区最優秀賞と文部科学大臣賞を受賞しました。

このコンクールは、授業における図書館の利活用や図書委員会の活躍、家庭での親子読書の取り組み、地域ボランティアの活動、公共図書館との連携などを総合して評価するものです。猪口校長は「読書は子どもの心と頭に無限の栄養を与えてくれます。上広川小では、朝の【朝読】、違う学年との【縦読】、家庭での【家読】など、本にふれる機会がたくさんあります。これからも環境づくりをがんばります」と喜びを語りました。



地域福祉の向上に貢献 朗読ボランティア広川テープの会

12月13日(火)、全国社会福祉大会で「朗読ボランティア広川テープの会」がボランティア功労の厚生労働大臣表彰を受けました。これは、長年にわたり福祉分野などでボランティア活動を率先して行った団体などを表彰するものです。広川テープの会は昭和63年に発足。34年間「広報ひろかわ」や「広川町社協だより」をカセットテープに音訳録音し、視覚障がいがある人へ、音声による町の広報紙を届けています。

会の皆さんは「録音のときは、聞き手の人がなるべくわかりやすく、聞きやすいことを意識しています。これからも町の情報を届けていきたい」と話していました。

Jr シンガポール遠征代表選出へ 池田莉央さん

1月19日(休)、ジュニアブロックシンガポール遠征の水泳日本代表メンバーに広川中学校2年生の池田莉央さんが選出されました。

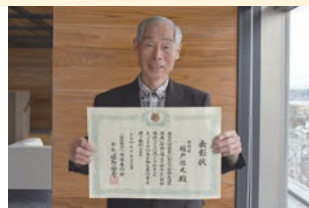


九州ブロック中学生女子の代表として、43人の日本代表選手とともに、3月に開催されるシンガポール大会に挑みます。

池田さんは「初めての国際大会で慣れない環境ですが、日本代表として全力を尽くし、メダル獲得できるようがんばります」と大会への意気込みを語りました。

地域づくりに貢献し善行表彰 綾戸信之さん

11月25日(金)、久泉区の綾戸信之さんが(一社)日本善行会の秋季善行表彰を受けました。



これまで、行政区長や公民館長、老人クラブ会長などに就き、長年地域づくりに貢献。平成29年には、地域の子どもと大人がふれあう「久泉ふれあいのひろば」を設立し、委員長として現在もスタッフの皆さんとものづくりや学習、食事の場を提供しています。綾戸さんは「地域の皆さんの生きがいづくりに役立てばうれしい」と話していました。